

# 鳥栖地区

はば

たけ



## はじめに

鳥栖地区まちづくり推進協議会は、鳥栖地区に住む私たちにできるまちづくりを実践する場として、平成23年12月に発足しました。そして、協議会の最初の活動として、このまちづくり推進計画の策定を行ったところであります。

計画を策定する中で、下にある昭和29年当時の鳥栖駅周辺の写真を資料として配ったところ、みんなで、ここはなんやったかなーと懐かしい思いにふけていました。この写真から60年近く経ち、鳥栖スタジアムやマンションなど建設され、大きく様変わりしています。

しかし、一番変わったと感じるのは、人と人との結びつきです。この写真の頃から比べると、生活は便利になった一方で、人と人との結びつきはかなり弱くなっていると感じます。今一度、時代にあったかたちで、人と人との結びつきを強くすることが必要だと考えています。

今後、このまちづくり推進計画を実行していきます。そのなかで、人と人との結びつきが強くなることを切に願っています。そのためには、鳥栖地区の皆さんのできる範囲でのご協力が必要不可欠です。この計画を鳥栖地区の皆さんで共有し、その実現への一歩を踏み出しましょう！

鳥栖地区まちづくり推進協議会 会長 増田 悟



昭和29年当時の鳥栖駅周辺

【表紙】 大久保 七彩さん（藤木町）

【デザインの説明】 カチガラスが鳥栖スタジアムの上をはばたいていく様子

【カチガラスとは】

正式にはカササギといい佐賀県の県鳥に選ばれ、「カチカチ」という鳴き声からカチガラスと呼ばれ親しまれています。明確ではありませんが、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に鍋島直茂、立花宗茂などの九州の大名が持ち帰ったとの言い伝えもあります。

【協議会事務局から】

鳥栖地区の未来の絵を小学生に募集したところ、『大久保さんの絵が表紙にいい』ということで、大久保さんの絵を採用しました。

## 目 次

- 1 まちづくり推進計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- 2 鳥栖地区の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
  - (1)鳥栖地区の歴史
  - (2)鳥栖地区の概要
    - ①人口について
    - ②行政区について
    - ③鳥栖地区の良いところ
    - ④鳥栖地区の現況マップ
  - (3)住民アンケートからみる鳥栖地区の現状
- 3 鳥栖地区の主な課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
- 4 鳥栖地区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
  - (1)鳥栖地区のシンボル
  - (2)鳥栖地区のシンボルマーク
  - (3)まちづくりの基本理念
  - (4)鳥栖地区の将来像
  - (5)子どもたちが考える未来の鳥栖地区
- 5 まちづくり基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
  - (1)主な課題に対する基本テーマ
  - (2)基本テーマごとの各種事業
    - ①みんなでつくる安全・安心なまち！
    - ②きれいで住み良いまち！
    - ③みんなで子どもを育むまち！
    - ④地域資源を活用し学び、伝えるまち！
    - ⑤いきいき元気な一人一役のまち！
    - ⑥楽しみながら健康増進するまち！
    - ⑦あいさつから始めるきずなのまち！
- 6 まちづくり基本計画実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18
- 7 まちづくり推進計画策定までの経過・・・・・・・・・・・・・・・・P19

## 1 まちづくり推進計画とは

鳥栖地区まちづくり推進協議会は、平成23年12月に鳥栖地区を、

『未来の子ども達からも感謝される様な、  
心豊かにして安心で日本一住みよいまち』

にすることを目的として設立しました。

そして、今後の協議会活動の方向性を示すものが、このまちづくり推進計画です。

具体的には、鳥栖地区の現状を把握し、解決すべき課題を整理する。そして目指すべき鳥栖地区の姿（＝将来像）を明らかにし、その実現に向けて、鳥栖地区に住むみんなが中心となってどのような活動するかをまとめたものです。

### 計画の必要性

まちづくりは、一朝一夕にできるものではありません。地区に住むみんなで、できることからコツコツと実践していくことが必要です。また、どのようなことに取り組むか、それぞればらばらに取り組んでも効果的ではありませんし、対応すべきことに手が回らない、活動にモレがでる場合もあります。

そこで、長い期間実践し、継続していくためには、いつまでにどのような事をするのか、どのような鳥栖地区の姿（＝将来像）を目指すのかを明らかにし、まちづくりを行う必要があります。

### 計画の期間

このまちづくり推進計画の期間は、平成25年度から10年間とします。ただし、計画期間の途中でも、状況の変化など必要に応じ見直します。

**計画の期間 : 平成25年度から平成34年度まで**

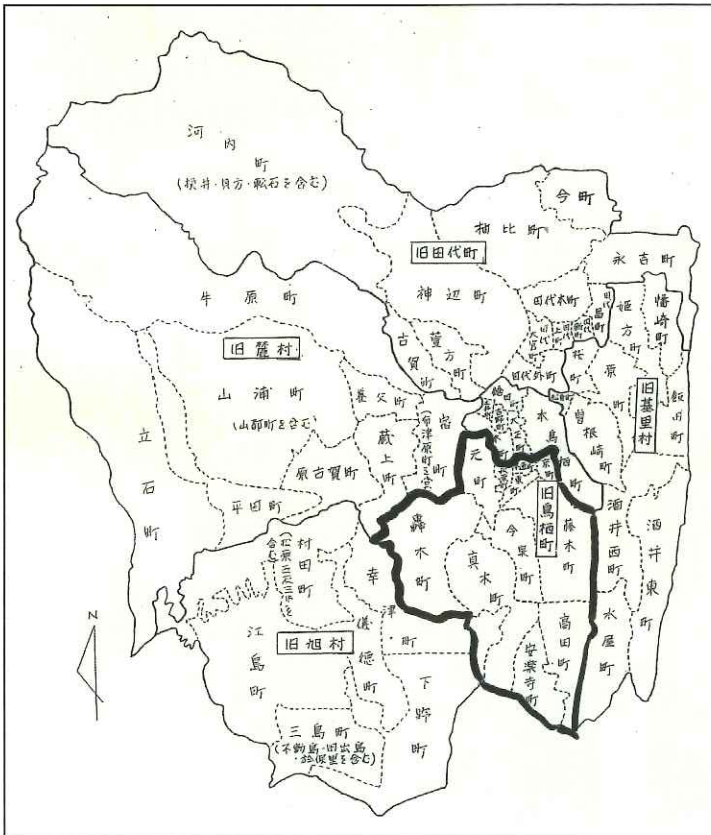
### 計画の共有

計画は策定して終わりではなく、実行するためのものです。この計画を実行するためには、限られた人では行えません。この計画における主な課題や目指す将来像を鳥栖地区のみんなで共有し、まちづくりの参加者・協力者を増やす必要があります。



## 2 鳥栖地区の姿

### (1)鳥栖地区の歴史



鳥栖地区は鳥栖市の南東部に位置しています。

鳥栖市は昭和29年4月に鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村の五つの地区が合併して誕生しました。その後、旧鳥栖町では小学校の児童数が増えたため、昭和31年に鳥栖小学校第二分校が設立され、翌年に鳥栖北小学校として独立しました。これを契機に鳥栖地区と鳥栖北地区の二つの地区に分かれ、現在の鳥栖地区となっています。

#### 町村合併時地図

(佐々木哲哉著『鳥栖の民俗』より改編)

鳥栖地区に、いつごろから人が住むようになったかは定かではありません。大木川と轟木川に囲まれた低段丘地の広い範囲に弥生時代の遺跡が分布し、鳥栖小学校付近、今泉から藤木方面にかけてと鳥栖駅周辺では多くの遺物が出土しています。

古代の鳥栖は、『肥前国風土記』に養父郡、鳥巢郷と記録され、朝廷に鳥を献上したことからこの名前がつけました。鳥巢郷は轟木・瓜生野（現在の秋葉町、本町、元町付近）・真木・藤木付近と推定されています。

平安時代に菅原道真が太宰府に配流になると、道真の五男長寿麿がこの地に住み着きました。道真公は、わが子に会うためしばしば訪れましたが、このとき腰掛けた石が「腰掛の石」、水に映した姿を描いたのが「姿見の池」として伝承されています。鳥栖は太宰府と地理的にも近く、このような道真伝説が残っています。

この時代に太宰府天満宮安楽寺の荘園が成立します。鳥栖地区の町名に安楽寺があるの



「姿見の池」と「腰掛の石」付近（元町）

はそのなごりです。やがて、これらの荘園は地方豪族や武家の所領となっていきます。

鎌倉時代には、鳥栖荘が発展して、藤木村、轟木村、今泉村、瓜生野保※が成立し、鎌倉御家人の藤木氏、土々呂木（とどろき）氏、高田氏などの武士団が頭角をあらわします。鎌倉時代末には瓜生野保に京都から八坂神社が勧進され、その後、瓜生野は戦国時代に大きく発展します。（※保：古代から中世の日本に存在した地域行政の単位）

江戸時代には、長崎街道の瓜生野町が成立し、現在の鳥栖市の中心市街地を形成することになります。この時代、鳥栖地区のほとんどが対馬藩田代領で、轟木のみが佐賀藩領であり、長崎街道轟木宿は佐賀藩最初の宿場町でした。轟木宿はドイツ人医師シーボルトがオランダ使節として江戸参府の途中に、太陽の高度測定を行った場所でもあります。鳥栖小学校正門付近に番所があり、すぐそばを流れる番所川（轟木川）を境に佐賀藩と対馬藩に分けられていました。



長崎街道瓜生野町（秋葉町）



長崎街道轟木宿（轟木町）

明治以降になると、鳥栖は「鉄道のまち」として発展します。最初の鳥栖駅は東町ガードの南にあり、東町・西町（現在は秋葉町と元町の一部）が栄えますが、鳥栖駅が現在地へ移転することにより、商業の中心が京町と本通町に移ります。

現在、「サガン鳥栖」のホームタウン化や利便性のよさなどが再認識され、鳥栖駅周辺にはビジネスホテルなどが建ちならび、以前にも増して活気付いています。

文：重松 正道さん（東町）



昭和40年ごろの鳥栖駅前（京町）

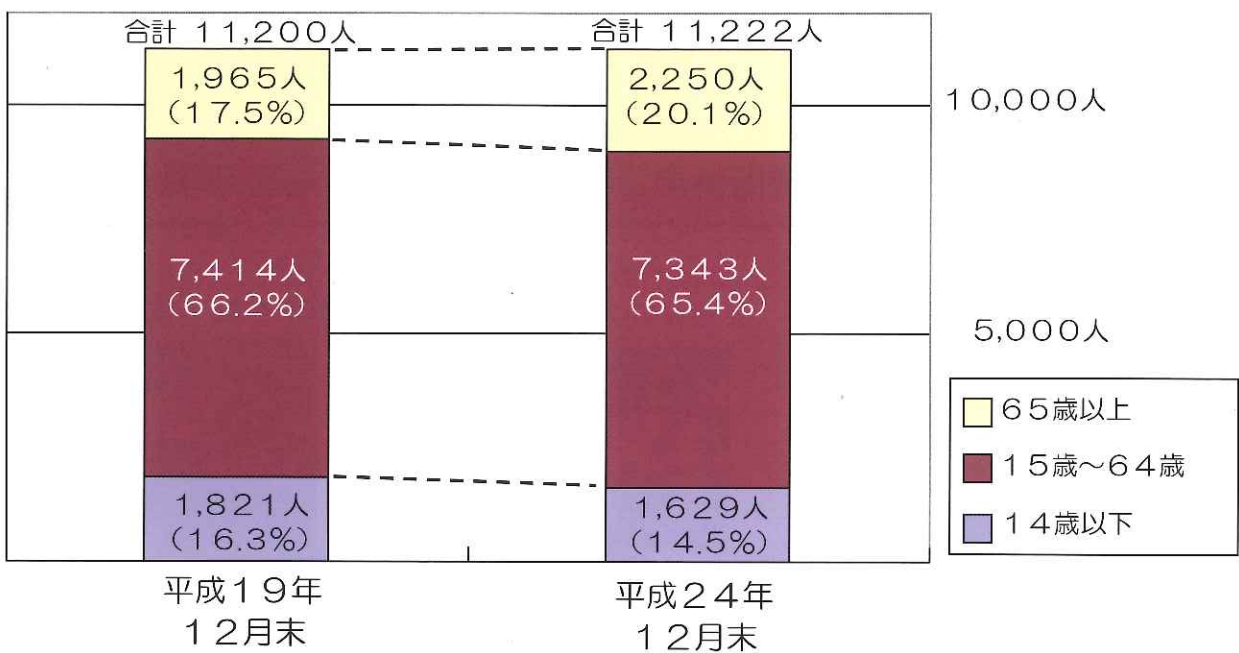
(2)鳥栖地区の概要

①人口について

鳥栖地区の人口は、平成24年12月末で11,222人となっています。高齢化率は20.1%で、5人に1人が65歳以上の高齢者です。

高齢化率は5年前と比較すると、2.6%増となっており、今後も高くなるものと推測されます。なお、鳥栖市の推計では平成30年12月末に24.6%となっています。

今後のまちづくりは、4人に1人が65歳以上の高齢者となる社会に対応する仕組みが必要です。



②行政区について

鳥栖地区には14の行政区があります。

轟木町	元町	秋葉町	藤木町	今泉町
真木町	高田町	東町	本通町	京町
安楽寺町	事業団宿舎	南部団地	つばさ鳥栖	

③鳥栖地区の良いところ

鳥栖地区には次のような良いところがあります。

建物など	・鳥栖駅 ・秋葉神社（150年以上前に建設された防災の神様） ・日子神社（叶の字の池） ・古民家（商家：秋葉町） ・姿見の池 ・鳥栖スタジアム ・鳥栖商工団地
祭り	・どろんこ大会 ・鳥栖山笠 ・ハートライトフェスタ ・長崎街道まつり ・藤木の獅子舞 ・鳥栖地区文化祭
自然	・真木の藤 ・田園風景

これらをまとめると、次のような地区と言えます。

鳥栖地区は、長崎街道沿いなどの歴史的な建物や鳥栖スタジアム、鳥栖商工団地や田園風景などが共存しています。それらを活用したどろんこ大会、鳥栖山笠、長崎街道まつりなどによる交流も活発な地区です。

鳥栖山笠



どろんこ大会



藤木の獅子舞



長崎街道まつり



鳥栖地区文化祭



ハートライトフェスタ



主な公共施設

⑨鳥栖小学校



⑩鳥栖まちづくり推進センター

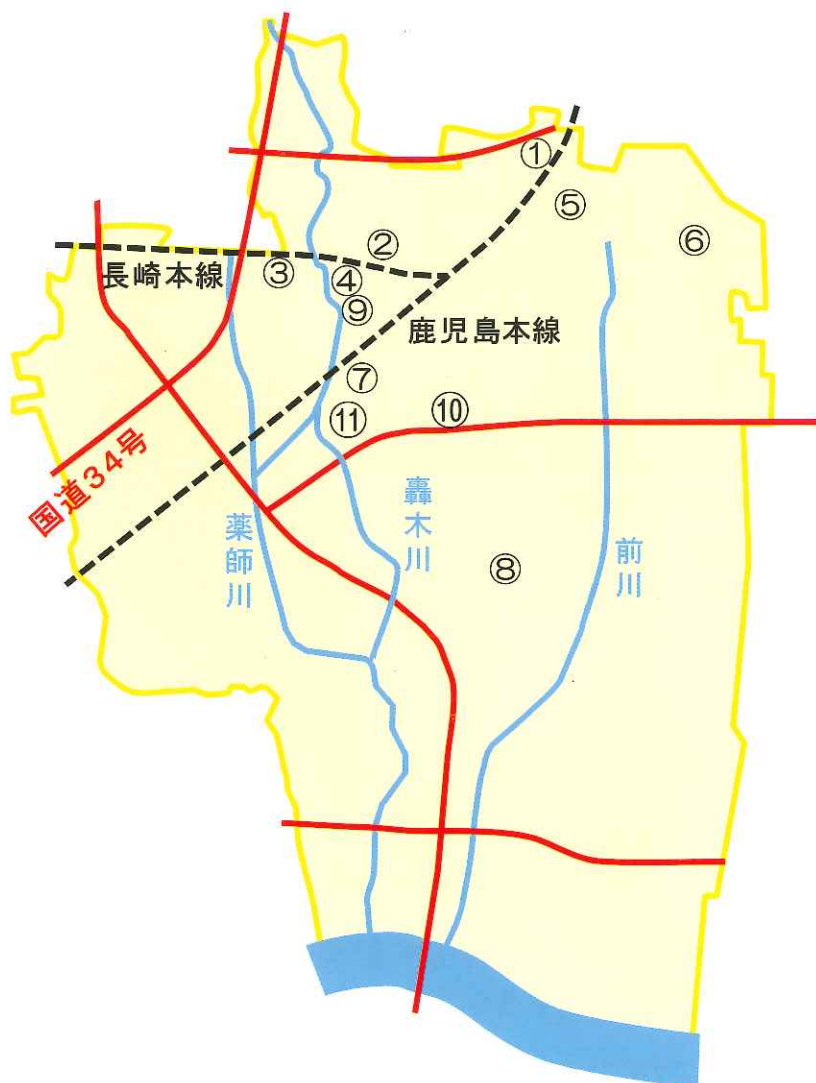


⑪鳥栖まちづくり推進センター分館





④鳥栖地区の現況マップ



①鳥栖駅



②秋葉神社・古民家



③日子神社



④姿見の池



⑤鳥栖スタジアム



⑥鳥栖商工団地



⑦真木の藤



⑧田園風景

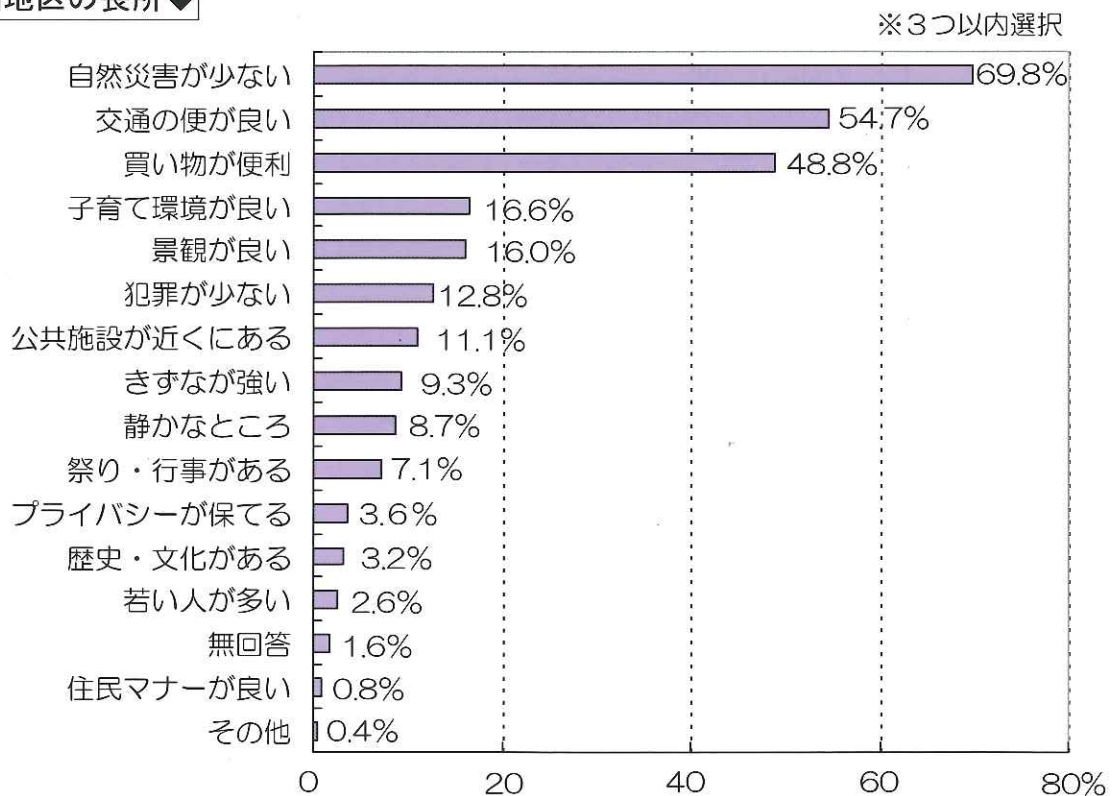


(3)住民アンケートからみる鳥栖地区の現状

鳥栖地区の現状を把握するためにアンケートを行いました。以下に主なアンケート結果を紹介します。

調査時期：平成24年4月～5月  
 調査対象：鳥栖地区在住者  
 有効回答：506人（調査票配布553人、回収率91.5%）  
 性別：男198人（39.1%） 女301人（59.5%） 無回答7人（1.4%）

◆鳥栖地区の長所◆



○『自然災害が少ない』が最も多く、70%近くの方が選択されています。

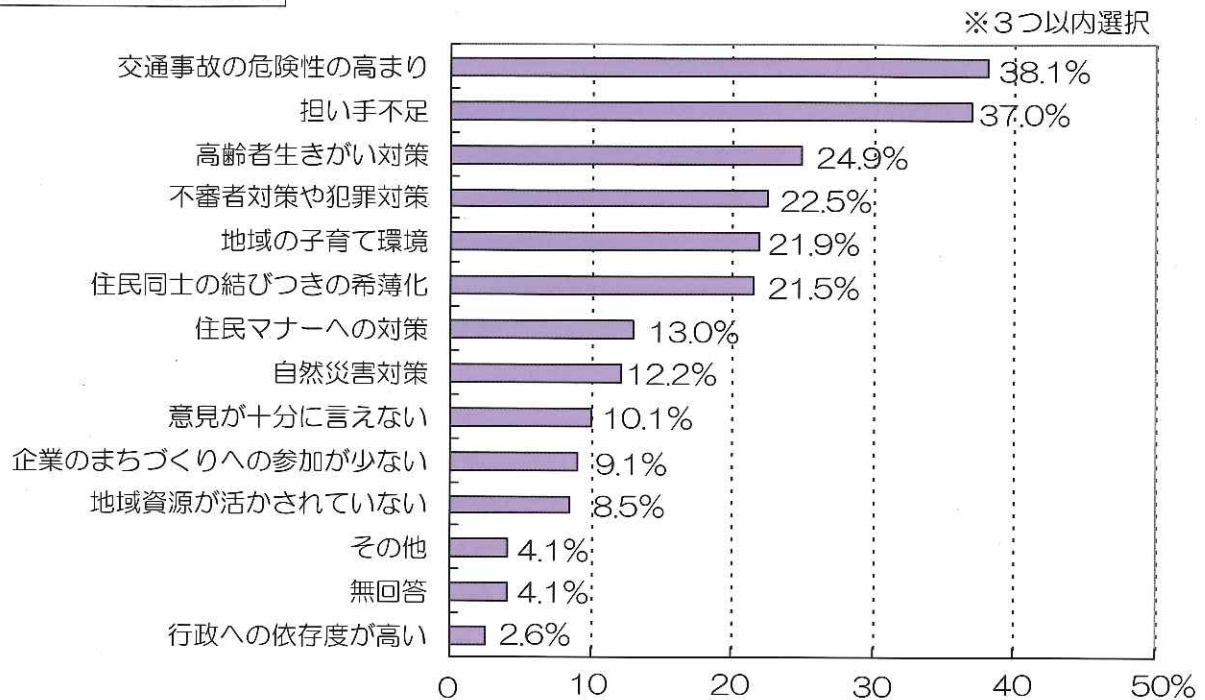
しかし、鳥栖地区でも昭和28年には西日本水害（28水）が発生しています。水害に限らず災害への備えは必要です。

昭和28年西日本水害（28水）とは 昭和28年6月に九州地方北部を中心に発生した集中豪雨による水害です。鳥栖町（現在の鳥栖地区）でも665.2ミリを記録し、筑後川など主要な河川の堤防が決壊し、宝満神社（藤木町）の階段の一段目まで水が押し寄せたそうです。

○『交通の便が良い』が上位となっているのは、鳥栖市が交通の要衝と言われており、それが生活の中で実感されていることがわかります。

○『買い物が便利』は、商店街を有する地区であるため、上位になっていると考えられます。

## ◆鳥栖地区の主な課題◆



- 『交通事故の危険性の高まり』が一番多く、また『不審者対策や犯罪対策』も20%を超えており、**安全・安心への不安**が高まっています。
- 『担い手不足』は2番目に多く、『住民同士の結びつきの希薄化』も20%を超えており、**コミュニティの希薄化・ひとづくり**への対応が必要です。
- 『高齢者生きがい対策』も上位であり、鳥栖地区でも平成30年12月末には、4人に1人が65歳以上の高齢者となる推計があり、**高齢者等福祉の推進**が求められます。
- 『地域の子育て環境』も20%を超えており、**子育て環境の充実**が求められます。
- 『住民マナーへの対策』は13%ですが、長所で『住民マナーが良い』は0.8%しかなく、この点を考慮すると、**環境美化意識の向上**が必要です。

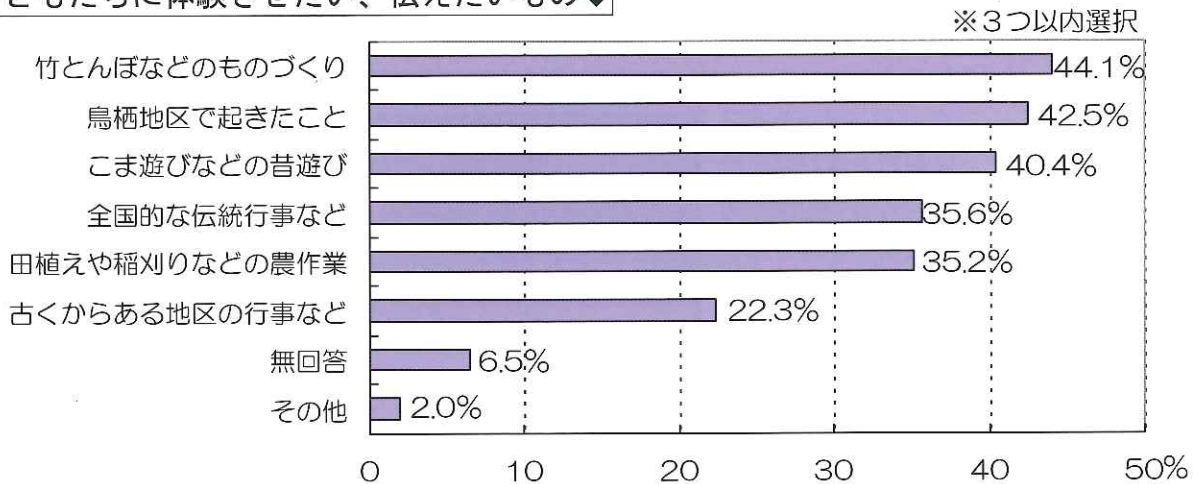
## ◆鳥栖地区の危険箇所◆

危険箇所については、交通安全に関する危険箇所が一番多くあげられています。そのなかで一番多かったのは坂口踏切です。意見としては、『一旦停止で止まらない車が結構ある』『朝の通勤通学の時間帯がゴチャゴチャしている』などです。



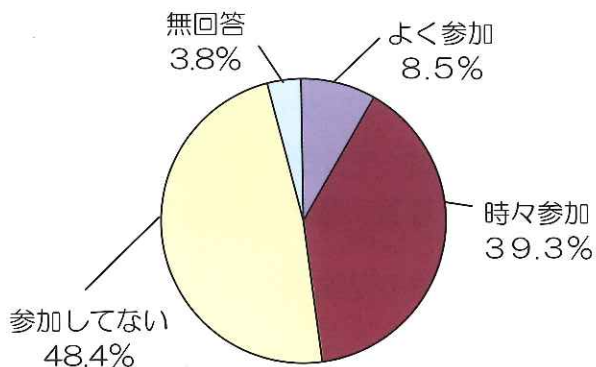
坂口踏切

◆子どもたちに体験させたい、伝えたいもの◆



○『竹とんぼなどのものづくり』『鳥栖地区で起きたこと』『こま遊びなどの昔遊び』が上位3つとなっています。特に『鳥栖地区で起きたこと』は、かつて28水など大規模災害も発生しており、**地区の歴史・文化の継承**が求められています。

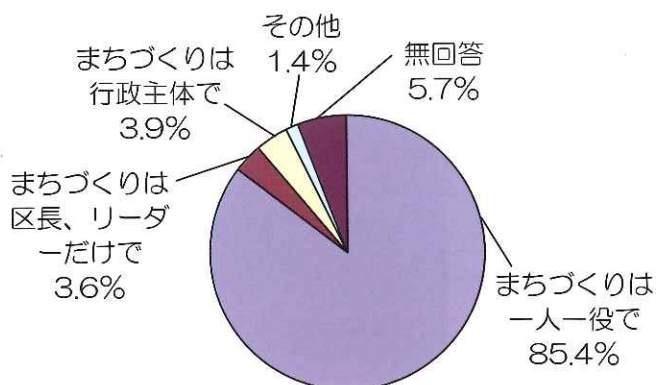
◆各種スポーツ行事への参加◆



○約50%の方が『参加していない』という現状です。今後、さらなる**健康増進・スポーツの推進**が必要です。

○参加していない理由は、『どこで何があるか知らない』が最も多く、情報をどのように伝えるかについての検討が必要です。

◆住民参加のまちづくりについて◆



○85%の方が、『一人一役のまちづくり』が必要と考えています。まちづくりは限られた人では行えません。多くの人にまちづくりに参加してもらえるような、住民みなさんの活躍の場をつくる必要があります。

### 3 鳥栖地区の主な課題

住民アンケートの結果などを基に、鳥栖地区の課題について協議を進め、現在、鳥栖地区が抱えている主な課題を次の7つに絞りこみました。

- 課題1 安全・安心への不安
- 通学路の安全確保
  - 災害への対応
  - 防犯（不審者対策など）



- 課題2 環境美化意識の向上
- ゴミの不法投棄
  - ポイ捨て
  - ペットの糞

- 課題3 教育・子育て・青少年健全育成の推進
- 子育て環境

- 課題4 文化、生涯学習の推進・地域活性化（祭り・行事・賑わい・地域資源の活用等）
- 推進センター主催講座への参加
  - 昔遊びの伝承
  - 鳥栖地区で起きたことの伝承
  - 町内行事への参加者が少ない

- 課題5 高齢者等福祉の推進
- 老人、障がい者、買い物難民への対策
  - 高齢者との交流対策



- 課題6 健康増進・スポーツの推進
- 健康情報の発信対策
  - スポーツ行事への参加対策

- 課題7 コミュニティの希薄化・ひとづくり
- 担い手不足
  - 組織活動の見直し
  - 個人主義の横行
  - 交流不足



## 4 鳥栖地区の将来像

### (1)鳥栖地区のシンボル

鳥栖地区の良いところはたくさんあります。なかでも鳥栖地区のシンボルとしては、長崎本線の分岐となっている『鳥栖駅』、Jリーグプロサッカーチーム“サガン鳥栖”のホームグラウンドの『鳥栖スタジアム』、夏本番を告げる勇壮な『鳥栖山笠』です。

#### ☆鳥栖駅☆



現在の駅舎は明治44年3月に完成した2代目のもので、九州鉄道時代に建築された大規模駅舎です。ホームの屋根を支える鉄柱は明治時代に製造されたレールを利用し建築されています。

また、駅東側には、昭和29年に現役を退いた、明治35年製造の268号機関車が展示されています。

#### ☆鳥栖スタジアム☆

25,000人収容の3階建てスポーツ競技場です。国内最初の純鉄骨造りの観覧スタンドを持ち、市内遺跡出土の銅剣をモチーフにしたスタンドの支柱が偉容を誇ります。Jリーグプロサッカーチーム“サガン鳥栖”のホームグラウンドで、フィールドは12,000m<sup>2</sup>の天然芝です。



#### ☆鳥栖山笠☆

昭和3年に秋葉町(当時の西町)が八坂神社祇園祭りの呼び物として、博多祇園山笠を参考に作った山車を出したのが始まりです。現在は、一番山から六番山までの6基の山車(内鳥栖地区から4基)が市街地を駆け抜け、夏本番を告げます。威勢のいいワッショイ、ワッショイのかけ声と沿道からかけられる力水が暑さを吹き飛ばします。夏休み最初の土・日曜日に開催されています。



## (2)鳥栖地区のシンボルマーク

子どもたちから鳥栖地区のシンボルマークを募集しました。応募は197件、サッカーをモチーフにしたものや地区の名称に鳥が含まれるため鳥をモチーフにしたものが多くあり、協議会で選考し、最優秀賞を右のマークに決定しました。



宮原 識水音さん（東町）

【シンボルマークの説明】

みんながなかよくしあわせな毎日  
がおくられるように。

## (3)まちづくりの基本理念

鳥栖地区は、長崎街道沿いなどの歴史的な建物や鳥栖スタジアム、鳥栖商工団地や田園風景などが共存しています。それらを活用したどろんこ大会、鳥栖山笠、長崎街道まつりなどによる交流も活発です。

これらのことから、基本理念を次のように定めます。

鳥栖地区の今後のまちづくりは、鳥栖地区のみんなが地区の歴史、良いところ、課題を知ること、学ぶこと、これが第一歩です。

そして、そこからまちづくりへの参加者・協力者を増やし、交流などを通じ、みんながつながるような鳥栖地区をつくる。それにより、今以上に良かところがいっぱいな鳥栖地区を目指します。

## (4)鳥栖地区の将来像

今を知り、昔を学び、みんなで作る、  
良かところいっぱい鳥栖地区！

(5)子どもたちが考える未来の鳥栖地区

計画を策定する中で、鳥栖地区の将来を担う子どもたちにも未来の鳥栖地区のことを考えてもらうため、未来の鳥栖地区の絵を募集しました。

募集にあたり、家族で鳥栖地区の良いところを話し合ってもらい応募してもらうようにしたところ、28件の応募があり、協議会で選考を行い、最優秀賞を次の絵に決定しました。



稲田 寧々さん（東町）

【絵の説明】

今の鳥栖駅は昔からあって新しいくないので、駅をビルにして新幹線、ざいらい線モノレールなどがとまって、いっぱい人が来たらいいと思ってこの絵をかきました。



三苦 理紗さん（南部団地）

【絵の説明】

あかるくて、たのしくて、元気になれる町



最優秀賞

田島 やまぶきさん

緑と笑顔がい



協議会での選考風景

『未来の鳥栖地区の絵』には小学生が書いた絵の説明書きがあり、委員のみなさんは、絵と説明書きを熱心に読んで、顔をほころばせながら選考していました。



(つばさ鳥栖)

っぱいの鳥栖



松岡 ゆらさん (今泉町)

【絵の説明】

おはながいっぱい、とりや虫やいぬと人がみんななかよくらせるしぜんのきれいなまちになったらいいなとおもいます。



大坪 歩未さん (元町)

【絵の説明】

駅を2階だてにしました。公園はエレベーターで上まで行けるすべり台と、自動ブランコです。電車はリニアモーターカーで自動車もリニアモーター自動車です。フレスポを未来デパートにしました。

## 5 まちづくり基本計画

鳥栖地区が抱える7つの主な課題ごとに、鳥栖地区の将来像の実現に向けての基本テーマをそれぞれ設定し、その基本テーマに沿って各種事業を展開します。

### (1)主な課題に対する基本テーマ

課題1 安全・安心への不安

基本テーマ

みんなでつくる安全・安心なまち！

課題2 環境美化意識の向上

基本テーマ

きれいで住み良いまち！

課題3 教育・子育て・青少年健全育成の推進

基本テーマ

みんなで子どもを育むまち！

課題4 文化、生涯学習の推進・地域活性化

基本テーマ

地域資源を活用し学び、伝えるまち！

課題5 高齢者等福祉の推進

基本テーマ

いきいき元気な一人一役のまち！

課題6 健康増進・スポーツの推進

基本テーマ

楽しみながら健康増進するまち！

課題7 コミュニティの希薄化・ひとづくり

基本テーマ

あいさつから始めるきずなのまち！



大石 茉由さん（藤木町）

【絵の説明】

わたしが考えたみらいの鳥栖は、べんりでくらしやすい町です。町の中にはみどりやはながいっぱいいてみんながにこにこくらししています。



古賀 彩夏さん（轟木町）

【絵の説明】

スポーツの町 鳥栖

## (2)基本テーマごとの各種事業

## ①みんなでつくる安全・安心なまち！

事業名	事業内容
人材確保（見守り隊の増員）事業	通学路の安全確保のため、見守り隊の現状を把握し、人材の確保を行います。
組織の見直し事業	見守り隊の現状を把握し、実情にあった組織の見直しを行います。
自主防災組織の設立・活動支援事業	町区の自主防災組織の設立支援や防災訓練の支援を行います。防災訓練では町区単位ではできないような訓練を協議会で実施します。
防犯パトロールステッカーの作成事業	防犯パトロールステッカーの作成を行い、委員の自家用車に貼り、防犯に努めます。
防犯灯維持管理支援事業	防犯灯が必要な個所等把握し、町区の防犯灯の維持管理の支援を行います。

## ②きれいで住み良いまち！

事業名	事業内容
看板の設置事業	不法投棄・ポイ捨て禁止の看板の設置を行い、防止します。
環境マナーアップ向上事業	ポイ捨て禁止、糞の後始末について、住民マナーの向上を図ります。
河川清掃事業	河川清掃、ゴミ拾い等を実施します。また、マナー向上にもつながるよう、作業のアピールを行います。

## ③みんなで子どもを育むまち！

事業名	事業内容
声かけパトロール事業	非行防止のため、声かけパトロールを実施します。
あいさつ標語の立て札作成事業	あいさつは地域のきずなづくりの基本であり、標語を募集し、立て札等設置し、あいさつを推進します。

④地域資源を活用し学び、伝えるまち！

事業名	事業内容
推進センター事業周知事業	推進センター事業をより参加したいものにするため、企画等に参加し、住民への周知を強化します。
伝承者確保事業	しめ縄等の伝承者を見つけ、人材の登録（人材バンク）をします。
世代間ふれあいイベント事業	鳥栖小学校を中心に、子どもと高齢者の交流を目的としたイベントを企画、実施します。
鳥栖カルタ作成事業	鳥栖の名所や歴史をカルタにし、子どもを対象としたカルタ大会を行います。
町区行事との連携強化事業	町区の行事を把握し、地区としての連携方法等を検討、実施します。

⑤いきいき元気な一人一役のまち！

事業名	事業内容
高齢者等への情報伝達事業	高齢者等が知っておくべき情報を整理し、的確に高齢者等へ伝えます。
花壇等作成事業	推進センター、町区公民館等において、花壇やプランターに花を植え、高齢者にお世話をお願いします。

⑥楽しみながら健康増進するまち！

事業名	事業内容
各種行事の周知策の強化事業	現在行っているスポーツ行事や健康増進事業を把握し、的確に伝えます。
スポーツ行事充実事業	中高年対象とした卓球、ウォーキングなどを推奨し、町区ごとに運動会に準ずる競技会を実施します。

⑦あいさつから始めるきずなのまち！

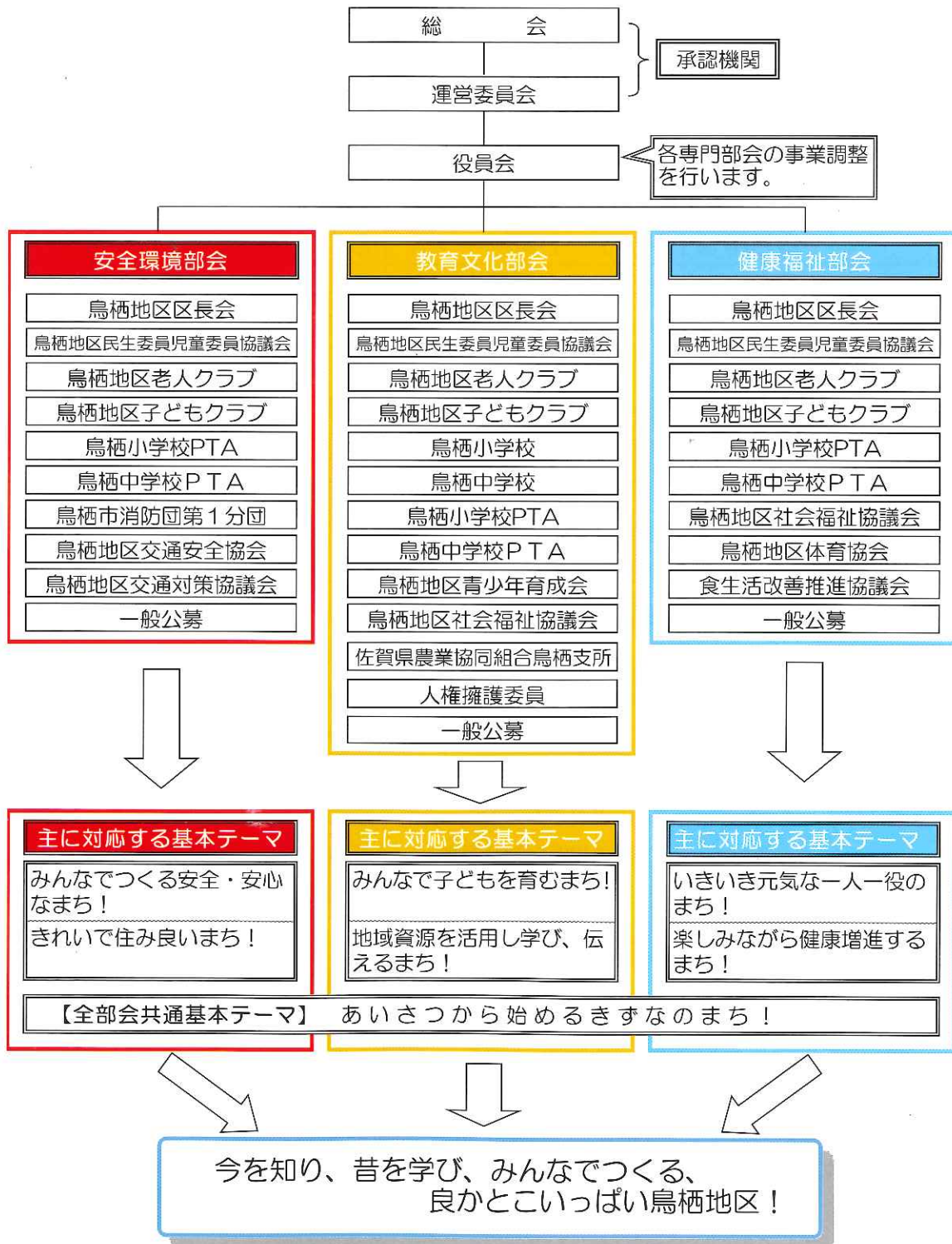
①～⑥のそれぞれの事業を推進することにより、きずなの強いまちを実現します。

## 6 まちづくり基本計画実施体制

基本テーマごとの各種事業は、鳥栖地区まちづくり推進協議会の各専門部会を基本とし、構成団体とも協力しながら、鳥栖地区がー丸となって実施します。

協議会の組織体制は、今後のまちづくり活動の進捗に応じて、活動に適した組織体制の見直しを行います。

### 《鳥栖地区まちづくり推進協議会組織図》



## 7 まちづくり推進計画策定までの経過

計画策定にあたり、専門部会からの意見集約を効率的に行うため、役員、各専門部会からの推薦者等を委員とする『鳥栖地区まちづくり推進計画策定委員会』を設置しました。策定までに、策定委員会を10回、専門部会を11回開催しています。

### ◆策定経過

日 程	会議名等	会議内容等
平成24年2月13日	第1回専門部会	策定委員選出
2月29日	第1回策定委員会	推進計画作成手順の確認、住民アンケート実施方法等の検討
3月19日	第2回専門部会	住民アンケート調査項目の検討
4月12日	第2回策定委員会	住民アンケート実施方法等確認
4月～5月	アンケート実施	553件配布
6月中旬	アンケート集計	506件回収
6月22日	第3回策定委員会	住民アンケート集計結果分析
7月 5日	第3回専門部会	住民アンケート集計結果分析
8月10日	第4回策定委員会	良いところ・主な課題の検討
8月27日	第4回専門部会	主要課題の検討
9月 6日	第5回策定委員会	特徴づけるもの(シンボル)の検討
9月19日	第5回専門部会	まち歩きコースの検討
10月 3日	第6回策定委員会	まち歩き実施の検討
10月17日	第6回専門部会	まち歩き ※強雨により中止
11月 5日	第7回専門部会	スライドによる現況把握 事業検討①
11月21日	第7回策定委員会	事業内容の中間取りまとめ 将来像の検討
12月10日	第8回専門部会	事業検討②
12月～1月上旬	シンボルマーク・未来の鳥栖地区の絵募集	シンボルマーク 197件 未来の鳥栖地区の絵 28件
平成25年1月16日	第8回策定委員会	将来像の検討、推進計画素案検討
1月28日	第9回専門部会	シンボル・未来の絵の選定 推進計画における事業内容の検討
2月14日	第9回策定委員会	推進計画実施に向けた組織体制
2月25日	第10回専門部会	シンボル・未来の絵の選定結果報告
3月14日	第10回策定委員会	組織体制、推進計画案検討
3月25日	第11回専門部会	推進計画案検討
5月27日	平成25年度定期総会	推進計画案の承認

編集・発行 鳥栖地区まちづくり推進協議会

---

〒841-0047

鳥栖市今泉町2172-2

鳥栖まちづくり推進センター内

Tel 0942-83-1686

平成25年10月発行

